

2019年11月14日

高齢者施設向けの食事「デリパック」 第49回食品産業技術功労賞（商品・技術部門）を受賞

SOMPOケアフーズ株式会社（代表取締役社長：森脇憲一郎、以下、「SOMPOケアフーズ」）は2019年10月、食品産業新聞社が主催する「第49回食品産業技術功労賞」を商品・技術部門で受賞し、表彰されましたのでお知らせします。

1. 食品産業技術功労賞とは

食品産業新聞社が創立20周年を記念して、1971年に我が国の食品産業の発展に著しく貢献した企業、または個人、団体を顕彰することを目的として「食品産業技術功労賞」を制定しました。同賞には、「商品・技術部門」「資材・機器・システム部門」「マーケティング部門」「国際部門」「環境・CSR部門」「地方発部門」の6部門があり、毎年1回表彰しています。

審査は、公的立場にある選考委員によって行われ、各部門の功労賞を選定し表彰すると同時に、その栄誉を称えています。今回は6部門および特別賞において全36件が受賞し、11月13日には、東京上野の精養軒にて表彰式が行われました。



2. 受賞商品について

今回、「商品・技術部門」で食品産業技術功労賞を受賞したSOMPOケアフーズの商品「デリパック」は、高齢者施設向けの調理済み冷凍食品で、温めて盛り付けるだけで完成するため、誰が作っても等しくおいしい家庭の味を再現できます。

また、嚥下の状態に合わせて4つの食形態※をご用意しており、介護現場の負担を最小限にしながら、おいしさと嚥下状態に合わせた食事提供が可能な商品です。

また、咀嚼力や嚥下力などの機能低下に加え、食欲や味覚も低下してきた方にも食べやすいメニューを研究開発し、「おいしい」と実感できる献立商品を豊富にラインナップしています。



3. 受賞理由

SOMPOケアフーズは、介護の総合ブランドであるSOMPOケアと共に、ご利用者の食事に対する

感想やご要望、スタッフの気付き等に真摯に向き合い、管理栄養士、調理師など食のプロフェッショナルが一丸となってメニューを企画・開発・改善し、ご利用者が毎日「食べたい！」と思える食事の開発に取り組んできました。

そして今回、「デリパック」が賞を受賞した評価項目・結果は、以下の通りです。

【開発経緯】

高齢者向けサービス現場の人材不足への対応と、おいしさを両立させた商品開発であること。

【技術的特徴】

セントラルキッチンではなく協力メーカーとのPB商品の企画・開発により、4つの食形態※をラインナップしていること。

※4つの食形態

①レギュラー（普通食）②ソフト（歯茎で潰せる）③ムース（舌で潰せる）④ピューレ（潰す必要がない）

【他社との差別性】

配食会社で唯一、高齢者施設と共に商品開発・改善サイクルを実現していること。

【革新性】

最新の栄養学と生産技術に基づくメニューを企画、提供していること。

4. 今後について

SOMPOケアフーズは、今後もご利用者のQOL（生活の質）向上を目指し、いつまでも口からお食事を楽しんでいただけるよう、お一人おひとりに「おいしい」と感じていただける安心・安全・健康につながる商品開発に向けて努力を続けていきます。

以上